

授業科目名 (英文名)	工業科指導法 (Teaching Theory of Technical Engineering I)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	3年次・後期
担当教員	雨河 祐二	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	教科「工業」に関する授業実践能力の基礎・基本を育成する。そのため、授業の構成要素と構造が説明できるとともに、教育課程、年間指導計画、学習指導案についての理解を深める。また、高等学校学習指導要領の趣旨を理解し、工業科の目標、内容、指導法などを理解する。さらに、授業の過程、機能及び評価の観点と方法を理解し、学習指導案を作成することができる。工業教育の目標・役割を理解し、豊かな教養を備えた実践的指導力ある工業教育の担い手の養成を目指す。		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】</p> <p>学校現場や教育行政の現状を把握・理解するとともに、工業科教育の歴史、教育目的、教育内容、教育方法について解説する。 工業教育の意義と役割、目標・内容を理解することにより、生徒が興味深く学ぶ環境づくりと生涯学び続ける豊かな人間性をはぐくみ、一人ひとりの個性を生かし、その能力を十分伸ばす教育が実践できる工業科教育の担い手としての必要な資質を身に付ける。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 : ガイダンス 本講座の目標や概要を説明する</li> <li>2 : 工業教育の意義・役割・目標・内容</li> <li>3 : 教育関係法令</li> <li>4 : 工業高校発展の歴史と現状</li> <li>5 : 工業科の科目と原則履修科目</li> <li>6 : 工業の各分野における基礎科目</li> <li>7 : 実践的工業教育</li> <li>8 : 教育課程の編成・単元計画</li> <li>9 : 授業設計、学習指導案、授業改善及び教育実習</li> <li>10 : 教育評価</li> <li>11 : 学習と授業理論</li> <li>12 : 教材と教具・情報機器の活用</li> <li>13 : 工業教育と進路指導</li> <li>14 : 学校運営と教育力向上への取り組み</li> <li>15 : 今後の工業教育、まとめと評価</li> </ol>		
テキスト	適宜指示		
参考文献	<p>高等学校学習指導要領（平成30年告示）          高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編          高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 工業編          新しい観点と実践に基づく工業科教育法の研究 改訂版          教職必修 技術科・工業科教育法 教職課程研究会編</p>		
成績評価の基準・方法	<p>学習への意欲 20%、理解度 30%          課題の総合評価 50%（課題の内容 30%、提出状況 20%）          課題の提出状況が70%以下の場合は単位取得不可とする。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業          ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅          でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境）が必要となる場合があります。最終的な授業          方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		

実践的教育	該当しない
備考	特になし。